

アサカミキリ

Thyestilla gebleri (Faldermann)
コウチュウ目・カミキリムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧II類

選定理由

県内では1950年代以降記録がない。かつてはアサの害虫とされていた。アサの栽培禁止以降、主にアザミ類を寄主植物として生息おり、草原環境の悪化に伴い全国的に良好な生息地の減少が報告されている。本県でも生息状況の把握が急務である。

種の特徴

体長10～15mm。前胸背板は正中部と両側に白糸を備えるが、しばしば黄白色微毛が全体を覆う。触角ははっきりした二配色。アザミ類の生育する草地に生息し、成虫は5～8月に出現。アザミ類の新芽をかじる。戦前はアサに依存していた。ラミーにもつく。

分布

本州～九州、隠岐に分布。県内では福井市一乗谷村で戦前の、大野市鳩ヶ湯で1950年代の記録があるのみである。

生息を脅かす要因

草地開発、草地の管理放棄、遷移の進行が本種の生存に脅威となる要因として指摘されている。大野市六呂師周辺等、まとまった草原環境が残されている場所で生息している可能性があり、県内での生息状況の把握が望まれる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、福井県自然環境保全調査研究会（1998）、環境省（2015）、日本鞘翅学会（1984）、大林・新里（2007）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	○

チャバネホソミツギリゾウムシ

Cyphagogus iwatensis Morimoto
コウチュウ目・ミツギリゾウムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】情報不足

選定理由

今回確認できず。全国的に生息情報が少なく、岩手県、京都府と本県から確認されているのみである。生息状況と生態の解明が望まれる。

種の特徴

体長5mm程度。赤褐色で、首を除いた頭部、吻、前胸背、後胸は黒～黒褐色。上翅は基部、中央、端部に不明瞭な黒紋を有する。詳しい生態は不明だが、広葉樹の枯木に穿孔するキクイムシやナガキクイムシの孔道で発見される。

分布

本州（岩手県、福井県、京都府）に分布。県内では1995年に南越前町牧谷から記録され、その後南越前町寺谷でも記録されている。

生息を脅かす要因

低地のナラ類の木の減少が脅威となると思われる。県内の生息状況、生態の解明が望まれる。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、林ら（1984）、環境省（2015）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
								○									

ホソミツギリゾウムシ

Cyphagogus signipes Lewis
コウチュウ目・ミツギリゾウムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

今回は調査できず。全国的に稀な種で少数が採集されているのみ。生態を含めて調査の継続が必要。

種の特徴

体長4.0～6.5mm。黒色で、首の部分、吻、触角は赤褐色。前胸基部と上翅基部は時に赤褐色。シイ等の枯木のキクイムシ坑道中に棲む。

分布

本州、九州、対馬、奄美大島に分布。県内では大野市嵐谷、谷山で記録があり、前回のレッドデータブック発行時の調査で大野市堅海でも確認されている。

生息を脅かす要因

シイノキ、ナラ類の木の減少が脅威となる。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、林ら（1984）、京都府自然環境保全課（2015）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
					○											○	